

# 日経「SDGs経営」調査 調査内容解説

NIKKEI-R

日経リサーチ

2021年5月14日

	日経「SDGs経営」調査の概要 . . . . .	2
	調査スケジュールと回答方法 . . . . .	6
	前回調査と表彰 . . . . .	12
	評価レポートとロゴ . . . . .	16
	評価と調査のポイント . . . . .	22
	お問い合わせ先 . . . . .	50

# 日経「SDGs経営」調査の概要

NIKKEI-R

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



- ✓ 貧困や気候変動など世界が直面する課題解決のため、国連で「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択。
- ✓ 17の目標からなるSDGsではすべてのステークホルダーに行動を求めているが、中でも**企業はビジネスを通してSDGs達成に大きく貢献することが期待されている。**
- ✓ 企業はSDGsを経営に組み込み、課題解決の事業やイノベーションの創出により、**持続的成長につながられる。**
- ✓ 環境、社会、企業統治を重視するESG投資の拡大や消費者意識の変化などにみられるように、**投資家や消費者はSDGsに積極的に取り組む企業を評価する傾向が強くなっている。**

- ✓ 日本経済新聞社はSDGs達成への貢献活動の一環として、企業を対象にSDGsおよびESGの推進を評価する、日経「SDGs経営」調査と、調査結果に基づく企業表彰を実施。
- ✓ **SDGsを経営と結びつけることで、事業を通じて社会・経済・環境の課題解決に取り組み、企業価値向上につなげている企業を評価するとともに、SDGs達成を後押し。**

NIKKEI  
SDGs





## 伊藤邦雄 一橋大学CFO教育研究センター長

- ✓ 経済産業省「SDGs経営／ESG投資研究会」座長
- ✓ 経済産業省「攻めのIT経営銘柄」選定委員会委員長
- ✓ 東京証券取引所「企業価値向上表彰制度委員会」委員長
- ✓ 経済産業省「グリーンファイナンスと企業の情報開示の在り方に関する「TCFD研究会」」座長
- ✓ 経済産業省・金融庁・環境省「TCFDコンソーシアム」会長などを務める。

# 調査スケジュールと回答方法

NIKKEI-R

## ■ 対象企業や実施期間

対象企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 国内の全ての上場企業</li> <li>✓ 従業員数100人以上の非上場企業（エントリー制）</li> </ul>
実施期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 5月12日（水）～7月2日（金）</li> <li>1次締切：6月18日（金）</li> <li>最終締切：7月2日（金） 17:00 <span style="color: red;">締め切りは厳守願います。</span></li> <li>環境負荷データの追加回答可能期間：8月23日（月）～9月3日（金）</li> </ul>
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 電子調査票（Excelファイル）ダウンロード・アップロード形式</li> <li>財務、時価総額、ガバナンスは、一部NEEDS収録データなど公表値を使用</li> </ul>
紙面掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 11月 日本経済新聞、日経産業新聞、日経電子版などに掲載</li> <li>同時に評価を記載したフィードバックレポートを送付</li> </ul>
表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 11月</li> </ul>

## ■ 調査回答の流れ

電子調査票（Excelファイル）ダウンロード・アップロード形式▼

✓ <https://brs.nikkei-r.co.jp/swsdgs2021/>

実施概要・調査票入手方法などの詳細▼

✓ [https://www.nikkei-r.co.jp/service/survey/smartwork\\_survey/2021.html](https://www.nikkei-r.co.jp/service/survey/smartwork_survey/2021.html)

Step1

✓ 調査サイトへアクセス、ログイン 

Step2

✓ 調査票（Excelファイル）をダウンロード、デスクトップなどに保存 

Step3

✓ 調査票（Excelファイル）に回答内容をご入力 

Step4

✓ 調査サイトにて回答済み調査票（Excelファイル）をアップロード 

## ■ 「SDGs経営」調査と「スマートワーク経営」調査①

- ✓ 基本的には、調査票の全てのセクションにご回答いただければ、自動的に両方の調査に回答したものと扱われます。できるだけ**両方の調査のご回答をお願いします**。
- ✓ 片方の調査のみ回答することも可能です。その場合は、調査票冒頭にある\*調査回答のご確認\*のプルダウンで「回答しません」を選択してください。

NIKKEI **SDGs** + NIKKEI **Smart Work**

### \*調査回答のご確認\*

「スマートワーク経営」調査、「SDGs経営」調査に回答しますか。そのままご提出いただくと、両方の調査に回答したことになります。  
**片方だけに回答したい場合に限り、回答をしない方を「回答しません」に変更してください。**

「スマートワーク経営」調査に回答します

「SDGs経営」調査に回答します

「SDGs経営」調査に回答します

「SDGs経営」調査に回答しません

調査にご回答いただいた後、弊社から内容についてお問い合わせさせていただきます。  
取りまとめの方と記入者が異なり、かつ弊社からのお問い合わせを直接記入者に差し上げた方がよい場合は、以下にご記入ください。

## ■ 「SDGs経営」調査と「スマートワーク経営」調査②

### SDGs／SW共通設問（両方の調査で使用）

- I. 事業内容、顧客層、拠点
- II. 経営トップ・取締役
- III. 人材活用（前半）
  - 1) 基本情報
  - 2) 労働時間、休暇取得、健康保持・増進
  - 3) ダイバーシティの推進
  - 4) エンゲージメント・モチベーション向上

### SW設問（SW経営調査のみで使用）

- III. 人材活用（後半）
  - 5) 多様で柔軟な働き方
  - 6) 人材への投資
  - 7) 変革・先進・独自施策
  - 8) 2021トピック設問 ～新型コロナウイルス対応～
- IV. 方針・計画と責任体制
- V. テクノロジーの導入・活用
- VI. イノベーション・市場開拓

✓ **NIKKEI SDGs + NIKKEI Smart Work** に回答したい場合

➔ **共通設問** & **SDGs設問** & **SW設問** に回答

✓ **NIKKEI SDGs** のみ回答したい場合

➔ **共通設問** & **SDGs設問** に回答

### SDGs設問（SDGs経営調査のみで使用）

- VII. 環境・社会・経済の課題解決の推進方針・体制
- VIII. 経済価値～事業を通じた環境・社会・経済の課題の解決
- IX. 環境価値
- X. 社会価値
- XI. ガバナンス
- XII. 新型コロナウイルスを踏まえたSDGs推進戦略
- XIII. その他
- XIV. 非上場企業向け設問

## ■ 環境負荷データ（EQ32～EQ34）

- ✓ 最終締切までに2020年度実績等の算出ができない場合、追加回答を受け付けます。  
【追加回答受付期間：8月23日（月）～9月3日（金）】
- ✓ 調査自体の最終締切（7月2日（金））までに一度は、SDGs経営調査の回答を提出している必要があります。（追加回答期間での調査そのものの新規回答は受け付けません。）
- ✓ 該当設問（EQ32～EQ34）以外の回答修正はできません。

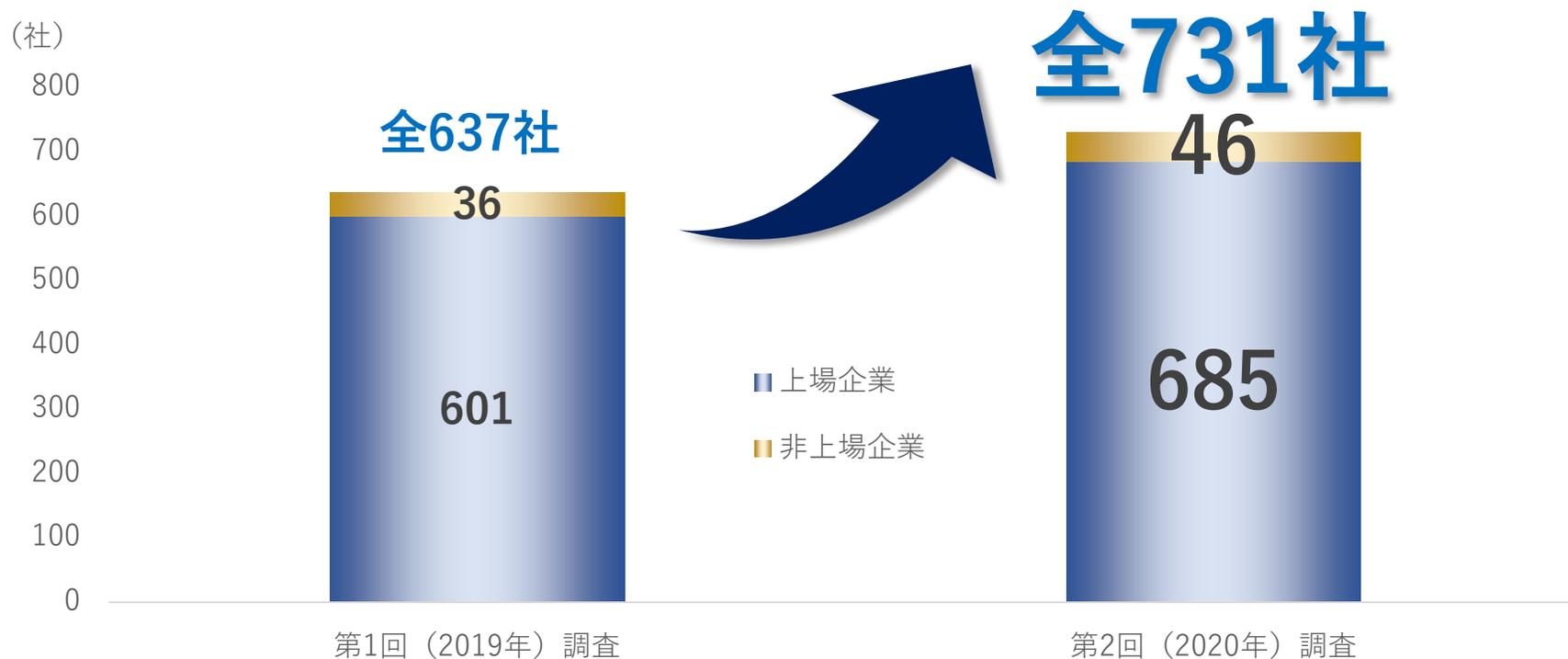
## ■ 回答方法

- ✓ 調査票ファイル内に、追加回答用の調査URL、ID、Passを記載しています。
- ✓ 記載のURLから、追加回答用の調査票ファイルを再度ダウンロードしてください。
- ✓ 回答内容を確認・追記し、再度アップロードしてください。

# 前回調査と表彰

NIKKEI-R

■ 回答社数の推移



- ✓ 全体で約**100社増加**し、上場企業・非上場企業ともに増加。
- ✓ 連続回答企業は508社、第2回から回答した企業は223社。

■ 総合格付上位企業

総合格付：★★★★★（偏差値70以上）

社名（50音順）	SDGs戦略・経済価値	社会価値	環境価値	ガバナンス
キリンHD	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★★
コニカミノルタ	★★★★★	★★★★★	★★★★☆	★★★★☆
リコー	★★★★★	★★★★★	★★★★☆	★★★★☆

総合格付：★★★★☆（偏差値65以上70未満）

アサヒグループHD、アズビル、アンリツ、イオン、エーザイ、NEC、MS&ADインシュアランスグループHD、オムロン、花王、KDDI、サントリーHD、塩野義製薬、資生堂、島津製作所、清水建設、J・フロントリテイリング、セイコーエプソン、積水ハウス、セブン&アイ・HD、ソフトバンク、SOMPO HD、第一三共、大日本印刷、大和ハウス工業、東京海上HD、トヨタ自動車、豊田合成、日清食品HD、日本たばこ産業、ファンケル、富士通、富士フイルムHD、丸井グループ、三井住友フィナンシャルグループ、三菱UFJフィナンシャル・グループ、ヤマハ（50音順）

※☆は、★の0.5個分  
 ※ホールディングスはHDと表示

（2020年11月17日 日本経済新聞より）

## ■ 表彰企業

賞	社名	取り組み等
大賞	リコー	50年までにサプライチェーン（供給網）を含み、温暖化ガスの排出ゼロを目指す長期目標を掲げる。さらに中期目標では、30年までに自社事業からの温暖化ガス排出量を63%減、供給網の排出量も20%減を目指す。
SDGs戦略・ 経済価値賞	東京海上HD	国内で建設が進む洋上風力発電向けの保険を提供している。
社会価値賞	資生堂	がんと闘う人たち向けにメーキャップを施して写真撮影する取り組みなどを通じて、闘病者を支援している。
環境価値賞	麒麟HD	原料を輸入するベトナムなどの農園向けに、森林保全を目的とした認証制度の取得を促している。

※ホールディングスはHDと表示

(2020年11月24日 日本経済新聞より)

## ■ 審査委員

- ✓ 一橋大学CFO教育研究センター長
- ✓ 日本総合研究所理事
- ✓ BNPパリバ証券グローバルマーケット統括本部副会長
- ✓ 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授
- ✓ 日本経済研究センター研究主幹

- 伊藤 邦雄 ※審査委員長
- 足達 英一郎
- 中空 麻奈
- 蟹江 憲史
- 刀祢館 久雄

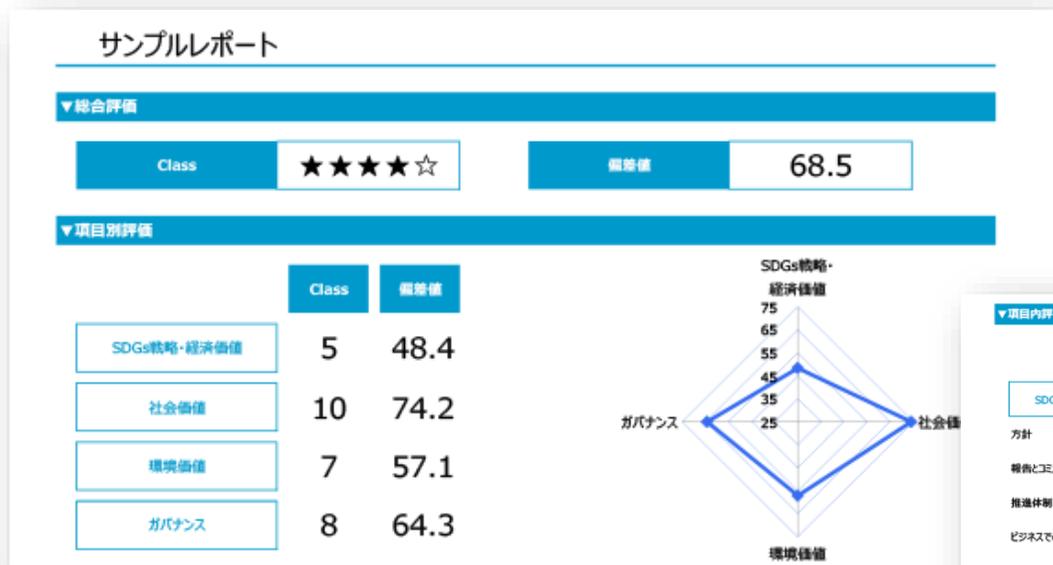
(敬称略、役職は審査会実施時のもの)

# 評価レポートとロゴ

NIKKEI-R

# フィードバックレポート (無償)

## ■ フィードバックレポート



※前回調査時のフィードバックレポート

- ✓ ご回答いただいたすべての企業に新聞掲載時期に無償提供。
- ✓ 調査結果を中分類ごとに偏差値で記載。

> ベンチマークレポート (有償)

■ ベンチマークレポート (プレミアム)

1. データ編の概要

※前回の調査結果については、掲載の範囲越えの掲載状況を記載しています。  
指定企業や各分析軸の実績状況を参考に、競争優位の材料と見做して頂けると幸いです。

■ 貴社が調査された範囲越えについて、棒グラフに赤色をつけ、「該当」と表示しています。

■ 貴社が調査した企業のうち、実績していると判断した企業の社数を表示しています。

■ 各分析軸ごとの実績比率 (%) を掲載しています。

1. データ編の概要

※分析軸ごとの平均値・中央値は、各分析軸ごとの平均値・中央値より、指定企業平均値を使用しています。  
※調査結果をまとめたレポートは別途ご用意いたします。

分析軸	平均値	中央値
上場企業	65.6	66.7
非上場企業	65.9	70.4
1億円以上	71.4	74.0
3,000億~1兆円未満	68.0	68.8
1,000億~3,000億未満	65.1	65.7
1,000億円未満	58.6	60.4
従業員数以上	70.9	72.4
従業員数以下	72.6	72.7
従業員数以上	69.8	70.1
従業員数未満	59.5	60.3
従業員数合計	59.3	59.1
非調査業種合計	61.8	62.7

貴社 69.0%

分析軸	平均	中央	平均値
貴社	635	65.6	67.1
指定企業	5	56.9	

© Nikkei Research Inc. All Rights Reserved

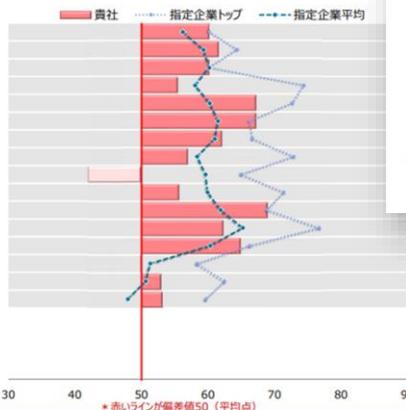
> V-2. 小分類別偏差値

V. 中分類・小分類評価

1. SDGs戦略・経済価値

具体的な取り組みに近いレベルでの自社の強み・弱みが分かります。  
※指標別と同様、指定企業トップは、項目ごとに最も高い評価を表しています。総合評価が最も高い企業とは限りません。

	貴社		指定企業平均		指定企業トップ	
	偏差値	ギャップ	偏差値	ギャップ	偏差値	ギャップ
a.経営トップによる発信	60.2	56.2	4.0	60.2	0.0	
b.方針策定	61.6	59.3	2.3	64.4	-2.8	
c.中長期経営計画におけるSDGs具体目標	60.2	60.2	0.0	60.2	0.0	
d.SDGsのイニシアチブへの参加	55.5	58.1	-2.6	74.4	-18.9	
e.新型コロナウイルスへの対応	67.2	60.3	6.9	72.7	-5.5	
f.社外開示	67.2	61.5	5.7	66.3	0.9	
g.投資家との対話	62.1	61.0	1.1	66.7	-4.6	
h.投資家以外のステークホルダーとの対話	57.0	58.4	-1.4	72.9	-15.9	
i.推進委員会の設置	42.0	59.6	-17.6	65.0	-23.0	
j.推進委員会の役割	55.7	59.9	-4.2	71.4	-15.7	
k.社内浸透	68.9	61.9	7.0	68.9	0.0	
l.経営への組み込み	62.3	65.2	-2.9	76.7	-14.4	
m.事業・サービス評価	64.9	60.3	4.6	66.3	-1.4	
n.利益水準	49.9	51.3	-1.4	58.4	-8.5	
o.成長性	53.0	50.6	2.4	62.5	-9.5	
p.投資家からの評価	53.2	48.0	5.2	59.7	-6.5	



※前回調査時のベンチマークレポート

- ✓ ご回答企業に有償で11月頃より販売開始。
- ✓ 競合他社 (選択可能) の平均値などとの比較により、自社の立ち位置把握が可能。
- ✓ フィードバックレポートより詳細な分類での偏差値により、強みと弱みが分かり、今後のSDGs経営の推進に役立てることが可能。

## > ロゴマークの使用について①

### ■ ロゴマークの使用についてご留意事項

- ✓ 偏差値をもとに対応する格付（★）を付与。
- ✓ **3つ星以上の格付**を受けた企業は星付きロゴマークを自社のHPや印刷物等でご利用可能。
- ✓ 該当の企業には新聞への掲載後、メールにてロゴマークのダウンロードサイトを案内。
- ✓ ご利用は無料。調査事務局（日経リサーチ）へご一報の上、ご利用をお願いいたします。



※前回調査時のロゴ  
 ※5つ星の場合のロゴ

格付	偏差値
★★★★★	70以上
★★★★☆	65以上70未満
★★★★	60以上65未満
★★★☆☆	55以上60未満
★★★	50以上55未満

※☆☆は、★の0.5個分

## > ロゴマークの使用について②

### ■ ロゴマークの使用例ーJ・フロントリテイリング

ホーム > サステナビリティ > 社外からの評価 更新日: 2021.03.24

---

#### 社外からの評価

External Recognition

当社のサステナビリティに関する取り組みが評価され、下記のESG指数、格付、指標に認定されています。

---

#### CDP2020気候変動の調査において「Aリスト」に認定

当社は、国際的な環境非営利団体CDPによる、2020年度の気候変動に関する調査において、最高評価であるAリストに初めて認定され、気候変動への取り組みや情報開示に関する先進企業として認定されました。マテリアリティのひとつに気候変動社会への貢献をかけた、Science Based Targets(SBT)イニシアチブの認定取得への取り組みや、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言に沿った情報開示、RE100への加盟など、気候変動に対する取り組みが評価されました。




---

#### 日経「SDGs経営」調査2020において星4.5に認定

当社は、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」への取り組みを格付けする日経「SDGs経営」調査2020にて、星4.5を獲得しました。日経「SDGs経営」調査「は、「SDGs戦略・経済価値」「社会価値」「環境価値」「ガバナンス」の計4つの分野に関する質問で構成され、企業向けアンケート調査や公開データなどから17の評価指標を作成し、企業を評価するものです。




---

#### 第4回「日経スマートワーク経営調査」において4星に認定

当社は、2020年11月、働き方改革を通して生産性革命に挑む先進企業を選定する第4回日経スマートワーク経営調査において、4星に認定されました。本調査は2017年から日本経済新聞社が実施しているもので、全国の上場企業と有力非上場企業を対象とし、多様で柔軟な働き方の実現、新規事業などを生み出す体制、市場を駆逐する力の3要素によって組織の(パフォーマンスを最大化させる取り組みを「スマートワーク経営」と定義し、企業統治など経営基盤も加え、星5段階で評価されます。



#### 日経「SDGs経営」調査2020において星4.5に認定

当社は、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」への取り組みを格付けする日経「SDGs経営」調査2020にて、星4.5を獲得しました。日経「SDGs経営」調査「は、「SDGs戦略・経済価値」「社会価値」「環境価値」「ガバナンス」の計4つの分野に関する質問で構成され、企業向けアンケート調査や公開データなどから17の評価指標を作成し、企業を評価するものです。



- ✓ 企業HPのサステナビリティのページ内の「社外からの評価」にCDPAリストの認定などとともに掲載。
- ✓ 投資家やステークホルダーが企業の外部からの評価を一覧で確認したいときに探しやすい情報提供の形式。

※J・フロントリテイリングHPより（掲載順を一部日経リサーチが変更）

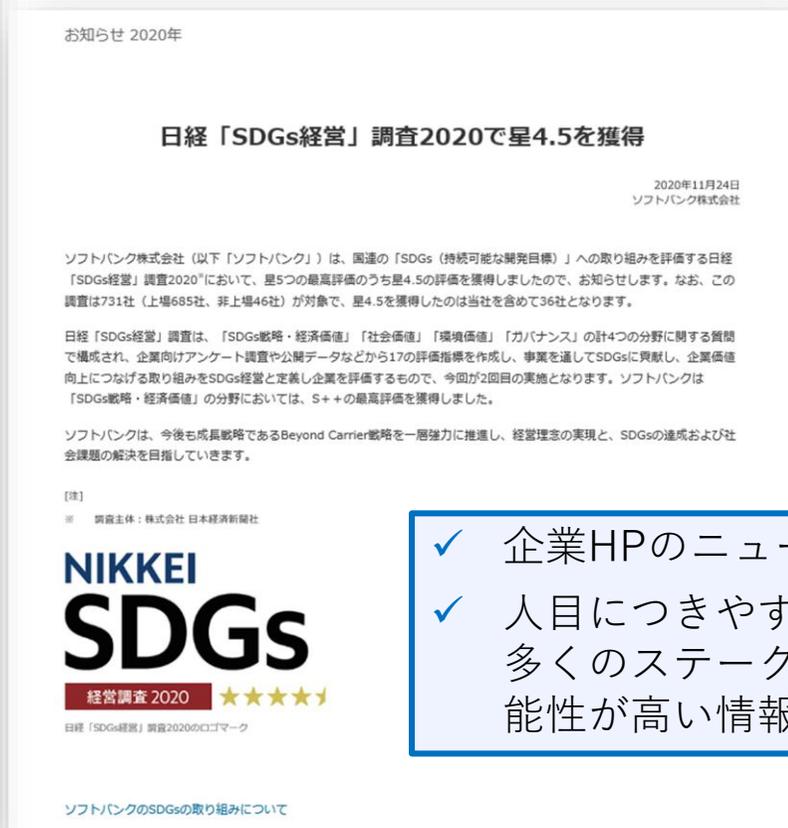
## ▶ ロゴマークの使用について③

### ■ ロゴマークの使用例ーソフトバンク



※ソフトバンクニュースより

✓ オウンドメディアに、SDGs自体の内容とそれに対する企業姿勢も含めて掲載。



✓ 企業HPのニュースリリースに掲載。  
✓ 人目につきやすい位置に掲載することで多くのステークホルダーに注目される可能性が高い情報提供の形式。

※ソフトバンクHPより

# 評価と調査のポイント

NIKKEI-R

## ■ 偏差値による相対的な評価

- ✓ 回答内容が前回と変更なくとも、前回より評価が下がる可能性もあります。

## ■ 把握していることを評価

- ✓ 回答が無回答より評価が低くなることはありません。
- ✓ 数量値については概数でも可能な限りご回答ください。

## ■ 公表していることを評価

- ✓ ステークホルダーに向け積極的な開示を行っていることを評価します。

## ■ サプライチェーンまで拡大した取り組みを評価

- ✓ 自社だけでなくサプライチェーンを含めた課題解決に取り組んでいることを評価します。

## ■ 上場・非上場による有利不利をできるだけ少なくする評価

- ✓ 非上場企業が回答不要の設問については、その分類に属する別の設問の得点を引き延ばして評価します。

## ■ 個別回答開示対象設問

✓ 企業のSDGs経営を発信することでステークホルダーからの評価向上などに繋がります。

大分類	Q	設問内容
SDGs戦略・ 経済価値	EQ1	環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）についてのトップメッセージ
	EQ2	基本的な方針・計画の策定
	EQ3	貴社全体として貢献を掲げるSDGsの目標
	EQ4	重要課題（マテリアリティ）に対応するSDGsの目標と評価指標
	EQ10	環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）について記載しているレポート
	EQ16	環境・社会・経済の課題を解決（SDGsへ貢献）するビジネス（製品・サービス）の内容
環境価値	EQ22	環境課題の解決に向けた取り組み
	EQ23	気候変動への適応策（温暖化を前提とした対策）
	EQ25	カーボンニュートラル宣言
	EQ26	温室効果ガス排出量の削減率

✓ EQ33の環境負荷データは、削減率などランキング上位企業を公表させていただきます。

**EQ0. ※個別回答開示対象設問の、貴社名とあわせた公表をご承諾ください。**

1. 公開可

2. 公開不可



## ■ 大分類と評価項目

大分類	評価項目
SDGs戦略・ 経済価値	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）に対する方針</li> <li>✓ 環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）の推進体制</li> <li>✓ 環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）の浸透のための取り組み</li> <li>✓ 報告とコミュニケーション</li> <li>✓ 事業を通じた環境・社会・経済の課題の解決（SDGsへの貢献）…などを評価</li> </ul>
環境価値	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 環境経営の方針</li> <li>✓ 環境課題の解決のための取り組み（気候変動の緩和及び気候変動への適応、持続可能な資源の活用、生物多様性及び生態系の保全）</li> <li>✓ 脱炭素に向けた取り組み</li> <li>✓ 環境負荷データ…などを評価</li> </ul>
社会価値	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 人権の尊重</li> <li>✓ 消費者課題</li> <li>✓ 社会貢献…などを評価</li> </ul>
ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ コーポレートガバナンスに関する方針</li> <li>✓ 取締役会の構成</li> <li>✓ 役員報酬…などを評価</li> </ul>

- ✓ 環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）に対する企業としての姿勢と、SDGsに関連するビジネスの内容を総合的に評価。

### ■ 推進方針・体制

- ✓ 経営トップによるメッセージ発信、基本的な方針・計画の策定、KPIの設定など

### ■ 推進体制

- ✓ 委員会や会議体の設置やその役割など

### ■ 浸透のための取り組み

- ✓ 社内への理念浸透策の取り組みの実施状況など

### ■ 報告とコミュニケーション

- ✓ 発行しているレポート、株主やそれ以外のステークホルダーと対話を行う機会など

### ■ 事業を通じた課題解決

- ✓ 課題解決に貢献するビジネス、ネガティブインパクトを低減するための取り組み **NEW!**

**NEW!**は新規設問

## ■ 基本的な方針・計画の策定

EQ2. 環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）における基本的な方針・計画を策定していますか。

以下のa～gについてお答えください。

※個別回答開示対象設問

a. 策定の有無（1つだけ）	1. 策定している	2. 策定していない（⇒EQ3へ）	
b. 策定年	年 ※方針を修正・変更した場合は、当初の方針の策定年		
c. 方針・計画の内容 （150文字以内）			
d. 方針策定において踏んだ ステップ（いくつでも）	1. 経営会議での議論・決定		3. 外部有識者や第三者機関による確認
	2. 取締役会での議論・決議		
e. 策定された基本方針が 何に反映されているか （いくつでも）	1. 独立したSDGsの方針・計画・宣言		4. 中期経営計画
	2. 経営戦略		5. 年次経営計画
	3. 長期経営計画		6. 企業行動に関する規範・指針
f. 公表の有無（1つだけ）	1. 公表している	2. 公表していない	
g. URL			

- ✓ 内容だけでなく、取締役会での議論など策定に当たり踏んだステップも重要。
- ✓ b.は、途中で方針を修正した場合、**当初方針を策定した年**をご回答ください。
- ✓ c.は、方針名や計画名だけでなく、その**具体的な内容**を直接ご回答ください。
- ✓ d.は、方針を修正した場合、修正前と後のいずれかで踏んだステップをご回答ください。

## ■ 委員会・会議体の設置とその役割

**EQ7.環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）について、全社で横断的に推進していくための委員会・会議体を設置していますか。（1つだけ）**

※取締役会、経営会議を含みません。

- |                  |                         |  |
|------------------|-------------------------|--|
| 1. 取締役会の委員会として設置 | 3. 全社横断の委員会はないが専門部署等を設置 |  |
| 2. 執行側の委員会として設置  | 4. 特に設けていない             |  |

（SQ1～5まで、「1.取締役会の委員会として設置」「2.執行側の委員会として設置」とお答えの場合）

**SQ1.委員会のカバー範囲はどちらですか。（ひとつだけ）**

- |               |              |  |
|---------------|--------------|--|
| 1. サステナビリティ全般 | 2. 環境、人権など一部 |  |
|---------------|--------------|--|

**SQ2.委員会の名称（SQ1で「1. サステナビリティ全般」の場合は、そのひとつだけ）**

**SQ3～5は、SQ2で回答した委員会についてお答えください。**

**SQ3.委員会・会議体に参加しているメンバーをお答えください。（いくつでも）**

	1. 経営トップ		4. 事業部門の役員または管理職		7. 社外取締役
	2. 戦略担当役員		5. グループ企業の社長または会長		8. 外部有識者
	3. 戦略担当以外の役員		6. グループ企業の役員		

✓ 委員会・会議体は、総合的判断により推進していくことを重視する観点から、一部をカバーするものより、サステナビリティ全般をカバーするものを評価します。

✓ SQ1は、両方ある場合は**サステナビリティ全般**を優先してご回答ください。

## ■ 株主・投資家やそれ以外のステークホルダーとの対話

**EQ11. 環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）について、株主・投資家などとの対話を行っていますか。（いくつでも）**

※非上場企業の場合は回答不要です。

1. 株主総会で説明		
2. 決算説明会で説明		
3. ESGを主題とする投資家向けの説明会	→ 2020年度実施回数：	<input type="text"/> 回
4. ESGを主題とする投資家との1 on 1ミーティング	→ 2020年度実施回数：	<input type="text"/> 回
5. セルサイドアナリスト向けIRミーティングで説明		
6. 環境省ESG対話プラットフォームへの参加		
7. その他	<input type="text"/>	
8. 行っていない		

**EQ12. 環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）についての、サステナビリティを主題とする株主・投資家以外のステークホルダーとの2020年度の対話回数をお答えください。**

	a. 説明会		b. 個別面談	
① 消費者・顧客	<input type="text"/>	回		
② 取引先・調達先	<input type="text"/>	回	<input type="text"/>	回
③ NPO・NGO	<input type="text"/>	回	<input type="text"/>	回

- ✓ 取り組み実施に留まらず、課題解決への建設的対話をステークホルダーと行うことが重要。
- ✓ EQ12の対話の定義を「サステナビリティを主題とする」ものに変更。

## ■ ネガティブインパクトとそれを低減するための取り組み

EQ15. 貴社の事業が環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）に対して与えている最大のネガティブなインパクトとそれを低減するための取り組みをお答えください。(各200字以内)

※回答に対してマイナスの評価はしません。ネガティブインパクトの把握、低減のための取り組みを評価します。

字数 0

- ✓ 課題解決のためのポジティブなインパクトを与える製品・サービスの提供だけでなく、事業が与えるネガティブインパクトを認識することが重要でありこれに関する問いを新設。  
**NEW!**
- ✓ ネガティブなインパクトが存在することについて**マイナスの評価は一切せず。**
- ✓ **ネガティブインパクトの把握と低減させるための具体的・効果的な取り組み**を評価。

## ■ SDGsへ貢献する製品・サービスの提供ー①

**EQ16. 自社および自社グループの環境・社会・経済の課題を解決（SDGsへ貢献）するビジネス（製品・サービス）の具体的な内容をお答えください。**

※事業活動で生じる環境負荷の低減に向けた具体的な取り組みはEQ22で、SDGsへの貢献を目指す社会貢献活動はEQ44にご記入ください。区分の考え方については、こちらをご確認ください。⇒ [【事例をお伺いする設問】](#)

※e. 貢献するSDGsの目標またはターゲットについて、ターゲットの設定がある場合は目標よりターゲットを優先してお選びください。（3つまでプルダウン選択、内容はSDGsターゲットリスト参照）

※j, k SDGsへの負の影響については、自社の事業が一面的には社会課題解決に繋がっていても、環境負荷など別の社会課題の発生に繋がる負の影響があると仮定し、負の影響の有無を分析し、最小化することを想定しています。

### ビジネス（製品・サービス）①

※a、bのみ個別回答開示対象設問

a. 製品・サービス名（40文字以内）

b. 製品・サービスの概要  
（150文字以内）

c. （新規性やイノベーションの要素がある場合）  
新規性・イノベーションの内容  
（150文字以内）


✓ SDGsへ貢献する具体的製品・サービスをできる限り**3つとも**ご回答ください。

✓ **新規性・イノベーション要素**の記載欄を新設。 **NEW!**

■ SDGsへ貢献する製品・サービスの提供—②

SDGsへの貢献	d. SDGsへの貢献のタイプ (1つだけ)	1. 製品・サービスそのもので貢献する						
		2. 製品・サービスの売上の一部を使って貢献する (一部を寄付など)						
	e. 目標またはターゲット	1つめ		2つめ		3つめ		
	目標		①社会課題解決に対する貢献			②自社の業績に対する貢献		
		f. 目標年		年		年		
		g. 目標指標の内容 (75文字以内)						
		h. 目標値 (50文字以内)						
	i. 実績 (100文字以内)							
	SDGsへの負の影響	j. 把握 (1つだけ)	1. 負の影響を把握している		2. 負の影響はない		3. 分析していない	
		k. 負の影響の内容と最小化する取り組み ※負の影響が無い場合は無いことを確認した方法 (150文字以内)						

- ✓ SDGsへの貢献は、社会課題解決と自社の業績いずれに対する貢献も重要であり、それぞれを問う形式に変更。いずれも**定量的な内容**をご回答ください。
- ✓ **負の影響の把握、最小化する取り組み**を評価。(サプライチェーンも含めた分析を評価)

- ✓ 環境経営の姿勢や、脱炭素・生物多様性などに関する具体的な取り組み、自社内だけでなくサプライチェーンまで含めた環境負荷データの把握・削減などを総合的に評価。

### ■ 環境経営の方針

- ✓ 具体的な方針の公表と適用範囲 **NEW!**、リスク・機会の分析、サプライヤー対応など

### ■ 気候変動・持続可能な資源の活用・生物多様性に関する取り組み

- ✓ 環境負荷低減に向けたKPI設定や計画策定、具体的な取り組みなど

### ■ 脱炭素に向けた取り組み

- ✓ カーボンニュートラル宣言 **NEW!**、脱炭素に向けた具体的な取り組み **NEW!**、日本政府の目標に対する考え **NEW!**など

### ■ 環境負荷データ

- ✓ 温室効果ガス排出量・消費電力量などについて把握範囲・実績値・中長期目標など

**NEW!**は新規設問

## ■ 事業活動で生じる環境負荷低減に向けた取り組み・気候変動への適応策

**EQ22. 事業活動で生じる環境負荷の低減に向けた具体的な取り組みをお答えください。(200文字以内)**

※製品・サービスの提供における環境課題解決への貢献はEQ16に、SDGsへの貢献を目指す社会貢献活動はEQ44にご記入ください。

区分の考え方については、こちらをご確認ください。⇒

[【事例をお伺いする設問】](#)

※個別回答開示対象設問

a. 気候変動の緩和	
b. 持続可能な資源の活用	
c. 生物多様性及び生態系の保全	

**EQ23. 気候変動への適応策（温暖化を前提とした対策）について、取り組みをお答えください。**

(200文字以内)

※個別回答開示対象設問

- ✓ EQ22のaは事業活動の過程で既に生じている負荷を軽減する取り組み、EQ23は気候変動という外部環境の変化を前提とした適応策と、**区別してご回答ください。**
- ✓ どのようにどのくらいといった**具体的・定量的な取り組み内容と効果**などをご回答ください。

## ■ 温室効果ガス排出量の実績削減率・目標削減率

EQ26. 基準年を100とした場合の、到達年の温室効果ガス排出量の値をお答えください。

※30%削減の場合70、30%増加の場合130、変化ない場合100と記入してください。

※四捨五入して整数でお答えください。

※個別回答開示対象設問

基準年⇒到達年	①Scope1+2+3	②Scope1+2	③Scope3	④原単位 (Scope1+2)
a. 2013年度⇒2030年度 (目標)				
b. 2013年度⇒2020年度 (実績)				
c. 2020年度⇒2030年度 (目標)				

- ✓ パリ協定の2013年度を基準として2030年度に向けた目標と2020年度の実績を調査。 **NEW!**
- ✓ a,b,cそれぞれ、左の年度の「基準年」を100とした場合の、右の年度の「到達年」の温室効果ガス排出量の値を①、②、③、④それぞれについてご回答ください。

## ■ 日本政府の目標に対する考え

**EQ28. 日本政府の温室効果ガス排出量を削減する2030年度目標と50年度目標について、客観的にどのように受け止めていますか。（1つだけ）**

a. 2030年度目標	1. 達成可能    2. 達成可能だがかなり難しい    3. 達成不可能    4. 分からない	<input type="checkbox"/>
b. 2050年度目標	1. 達成可能    2. 達成可能だがかなり難しい    3. 達成不可能    4. 分からない	<input type="checkbox"/>

**EQ29. 日本政府の2030年度と50年度の目標を受け、貴社は温室効果ガスの削減計画を見直しますか。（1つだけ）**

1. 従来計画で対応可能	3. 引き上げる方向で見直す予定・見直し中	<input type="checkbox"/>
2. 目標を引き上げた	4. 政府目標と自社の計画はリンクしないため見直さない	<input type="checkbox"/>

**EQ30. 日本政府の2030年度目標と50年度目標を達成するため、必要であると考えられる日本政府の施策をお答えください。（いくつでも）**

<input type="checkbox"/> 1. 脱炭素技術の開発支援	<input type="checkbox"/> 4. 排出量の直接規制	<input type="checkbox"/> 7. 人材のスキル転換支援 (職業訓練のための資金補助等)
<input type="checkbox"/> 2. 事業転換のための資金支援	<input type="checkbox"/> 5. 炭素税の本格導入	<input type="checkbox"/> 8. その他 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 3. 排出量取引の本格導入	<input type="checkbox"/> 6. 電源構成の抜本的見直し	

- ✓ 2030年目標（2013年比46%削減）と2050年目標（カーボンニュートラル）への考え。
- ✓ EQ28は、日本政府の目標に対する国全体としての達成可否をどう考えるかをご回答ください。
- ✓ 評価には一切使用しません。率直な考えをご回答ください。

## ■ 環境負荷データ

### EQ33. 環境負荷データの実績・見込み数値についてお答えください。

※最新の把握範囲で過去実績の遡及算出が可能な場合はその数値をご記入ください。

排出量等の大幅増加の主因となる水準での算出ルールの変更（把握範囲やバウンダリーの大幅な拡大など）があった場合は、前年度との実質的な比較欄に「1」を入力してください。M&Aによる増加はこれには該当しません。

※x-4.温室効果ガス、d-2.水資源投入量は原単位の内容もご記入ください。

※ランキング上位企業公表項目

		2019年度実績	2020年度実績	2021年度見込み	単位
温室効果ガス	x-1. Scope1				tCO2e
	x-2. Scope2 (ロケーション基準またはマーケット基準)				tCO2e
	x-3. Scope3				tCO2e
	x-4. Scope1+2 (原単位)				下記に記載
エネルギー	a. 消費電力量				kwh
	b. うち再生可能エネルギー量				kwh
廃棄物	c-1. 廃棄物等総排出量				トン
	c-2. 廃棄物最終処分量				トン
水資源	d-1. 水資源投入量				千m3
	d-2. 水資源投入量 (原単位)				下記に記載
前年度との排出量や消費量の実質的な比較			不可の場合1		不可の場合1

- ✓ 最新の把握範囲で過去実績の遡及算出が可能な場合はその数値をご回答ください。
- ✓ 排出量等の大幅増加の主因となる算出ルールの変更があり、遡及算出が不可の場合は、前年度との実質的な比較欄に「1」をご入力ください。M&Aによる増加はこれには該当しません。

- ✓ 自社、サプライチェーンにおける人権デューデリジェンスの実施や、消費者課題、社会貢献に関する取り組みなどを総合的に評価。

### ■ 人権の尊重

- ✓ 人権方針の公表と適用範囲、リスクの特定と予防・軽減策の策定 **NEW!**、  
自社とサプライチェーンにおける取り組み、  
外国人労働者の人権問題に対する取り組みなど

### ■ 消費者課題

- ✓ 障害者や高齢者など多様な顧客への対応、製品・サービスの品質・安全性確保など

### ■ 社会貢献

- ✓ 従業員の社会貢献活動支援、社会貢献活動費、社会貢献活動

**NEW!**は新規設問

## ■ 人権の尊重

EQ35. 人権の尊重について、実施および公表をしていますか。(それぞれ1つずつ)

【選択肢】

- 1. 実施し、公表もしている
- 2. 実施しているが公表していない
- 3. 実施していない

a. 人権の尊重に関する方針	<input type="checkbox"/>
b. 事業や組織の活動が人権に与える影響（人権リスク）の特定	<input type="checkbox"/>
c. リスクに対する予防策または軽減策	<input type="checkbox"/>

(a. 人権の尊重に関する方針について、「1. 実施し、公表もしている」場合)

URL :

SQ1. (aで「1. 実施し、公表もしている」場合) どのような方針を公表していますか。(いくつでも)

<input type="checkbox"/>	1. 児童労働	<input type="checkbox"/>	3. 差別	<input type="checkbox"/>	5. その他
<input type="checkbox"/>	2. 強制労働	<input type="checkbox"/>	4. ハラスメント		

SQ2. (aで「1. 実施し、公表もしている」場合) 方針の適用範囲をお答えください。(いくつでも)

<input type="checkbox"/>	1. 自社全体	<input type="checkbox"/>	3. 国内の関連会社	<input type="checkbox"/>	5. 海外の関連会社
<input type="checkbox"/>	2. 国内連結の連結子会社	<input type="checkbox"/>	4. 海外の連結子会社	<input type="checkbox"/>	6. サプライチェーン

- ✓ 人権デューデリジェンスの一環として実施が求められる、**リスクに対する予防策・軽減策**の実施の有無に関する問いを新設。 **NEW!**
- ✓ 人権デューデリジェンスはサプライチェーンまで拡大し実施することが重要。

- ✓ 基本方針、取締役会等の構成、スキルマトリックスや役員報酬の開示など総合的に評価。

## ■ コーポレートガバナンスに関する基本方針

- ✓ コーポレートガバナンスに関する基本方針 **NEW!**、汚職防止と企業倫理方針 **NEW!**

## ■ 取締役会と指名・報酬委員会

- ✓ 取締役会、指名・報酬委員会の構成、経営トップと取締役会議長兼任の禁止 **NEW!**、選解任規定、スキルマトリックス等の開示など

## ■ 役員報酬その他

- ✓ 役員報酬とESG要素の連動性、資本コストの活用、政策保有株式など

**NEW!**は新規設問

## ■ 取締役会と指名・報酬委員会の構成

**EQ47. 取締役会および指名委員会・報酬委員会の構成についてご記入ください。**

※指名・報酬委員会は任意のものを含みます。

※補欠・仮監査役は、除いてください。

※指名委員会等設置会社の監査委員と監査等委員会設置会社の監査等委員は、取締役ではなく監査役に入れてください。

	a. 取締役会		b. 指名委員会		c. 報酬委員会	
① 業務執行の社内取締役		人		人		人
② 非業務執行の社内取締役		人		人		人
③ 独立社外取締役		人		人		人
④ 非独立社外取締役		人		人		人
⑤ 社内監査役 ※監査委員		人		人		人
⑥ 社外監査役 ※監査委員		人		人		人
⑦ その他				人		人

**EQ48. 取締役会および指名委員会・報酬委員会の議長をお答えください。（それぞれ1つだけ）**

※指名・報酬委員会は任意のものを含みます。

※指名委員会等設置会社の監査委員と監査等委員会設置会社の監査等委員は、監査役（5、6）と読み替えてください。

【選択肢】

1. 業務執行の社内取締役	2. 非業務執行の社内取締役	3. 独立社外取締役
4. 非独立社外取締役	5. 社内監査役	6. 社外監査役
		7. その他

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓

a. 取締役会（7は選択不可）	b. 指名委員会	c. 報酬委員会
-----------------	----------	----------

✓ 監督と執行の分離の観点から、構成・議長ともに、社外取締役を**独立社外取締役**と非独立社外取締役に分けるなど、より細かな分類に変更。

## ■ 役員報酬の固定・業績割合とESG要素との連動

### EQ55. 役員の総報酬における固定報酬と業績連動型報酬の割合をお答えください。

※短期業績／中長期業績の区分が無い場合、固定報酬の割合のみでもご記入ください。

※対象となる役員は、原則AQ9.①取締役（社内）の範囲でお答えください。

※原則設定ベース（標準的な業績だった場合の割合）でお答えください。設定がない場合は直近の実績でも構いません。

※株式報酬も含めてお答えください。

$$\begin{array}{c} \text{固定報酬} \\ \text{約 } \boxed{\phantom{00}} \% \end{array} + \begin{array}{c} \text{短期業績} \\ \text{約 } \boxed{\phantom{00}} \% \end{array} + \begin{array}{c} \text{中長期業績} \\ \text{約 } \boxed{\phantom{00}} \% \end{array} = \text{計 } 100\%$$

### EQ56. 役員報酬について、特徴的な取り組みをお答えください。

(いくつでも)

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1. 温室効果ガス排出量の削減率など環境に関する指標と役員報酬を連動させている             |
| <input type="checkbox"/> | 2. 従業員エンゲージメントなど人材に関する指標と役員報酬を連動させている               |
| <input type="checkbox"/> | 3. 顧客満足度に関する指標と役員報酬を連動させている                         |
| <input type="checkbox"/> | 4. 外部評価機関によるESG評価やSDGs評価（ESG指数へ採用の有無を含む）と報酬を連動させている |
| <input type="checkbox"/> | 5. その他のESGに関する指標と役員報酬を連動させている                       |
| <input type="checkbox"/> | 6. 報酬の算出方法を開示している                                   |
| <input type="checkbox"/> | 7. 支給済みの業績連動報酬を会社に強制返還させる仕組み（クローバック条項）を導入している       |
| <input type="checkbox"/> | 8. その他 <input type="text"/>                         |
| <input type="checkbox"/> | 9. 特に特徴的な取り組みはない                                    |

✓ 固定報酬と業績報酬の区分しかない場合は**固定報酬の割合のみでも**ご回答ください。

✓ ESG評価を役員報酬に反映させていることを評価。

## ■ 新型コロナで生じた課題とポジティブインパクトを与えた活動

EQ61. 新型コロナウイルス感染症の流行で深まったもしくは生じたと考える持続可能性に関する課題とそれに対して実施した、ポジティブな社会的インパクトを与える活動の内容と成果をご記入ください。（それぞれ150字以内）

課題	
取り組み	
成果	

- ✓ 国連は、新型コロナウイルス感染症の流行が、SDGs達成に対し負の影響を与えたと分析。
- ✓ 企業としてそれをどのような課題として認識し、どのように向き合ったかをご回答ください。  
**NEW!**
- ✓ 成果には、インパクトの大きさが分かるよう、**定量的な成果**をご回答ください。

## > 自由記述設問の意図する内容

### ■ SDGsへ貢献する取り組みに関する各自由記述設問の意図する内容

Q	設問内容	どのような貢献か	何の分野か
EQ16	SDGsに貢献する製品・サービス	<b>製品・サービス</b> が 世に出て利用されることによる貢献	<b>問わず</b>
EQ22a	気候変動の緩和に関する具体的取り組み	<b>事業活動内</b> で 生じた負荷に対して製品・サービスの提供に至る前段階における貢献	<b>環境</b>
EQ22b	持続可能な資源に関する具体的取り組み		
EQ22c	生物多様性および生態系の保全に関する具体的取り組み		
EQ23	気候変動への適応策に関する具体的取り組み	<b>温暖化を前提</b> とした対応策	
EQ44	SDGsに貢献する社会貢献活動	<b>社会貢献活動</b> による貢献	<b>問わず</b>

### ■ EQ22, EQ16の区分け例



✓ 「どのような貢献か」と「何の分野か」から、記載する内容を書き分けてください。

## ■ 単一回答設問（1つだけ選択）の回答方法

✓ 該当する選択肢番号を選択肢の右側にあるクリーム色の欄にご入力ください。

**EQ49.経営トップが取締役会の議長となることを禁止していますか。（1つだけ）**

1. 禁止を定め開示している      2. 禁止を定めているが開示はしていない      3. 禁止していない

1

✓ この場合、経営トップが取締役会の議長となることの禁止について、「1.禁止を定め開示している」と回答したことになります。

## ■ 複数回答設問（いくつでも選択）の回答方法

✓ 該当する選択肢の左側のクリーム色の欄に「1」をご入力ください。

### EQ51.取締役などの経験・専門性に関する、開示状況についてお答えください。（いくつでも）

※有報に記載の経歴など、法定開示の範囲は除きます。

1	1. 取締役求められるスキルや経験	1	3. 取締役のスキルマトリックス
1	2. 取締役に求められるスキルや経験の理由 (事業戦略や課題とのリンク)	1	4. 取締役以外のスキルマトリックス
		1	5. スキルマトリックスの中にESGの要素がある (ESG・サステナビリティ・環境など)

✓ この場合、「2.取締役に求められるスキルや経験の理由を開示している」、「3.取締役のスキルマトリックスを開示している」、「5.スキルの中にESG関連の要素がある」の3つを回答したことになります。

## ■ 数量値設問の回答方法

✓ クリーム色の欄に該当する数値をご入力ください。

### EQ55. 役員の総報酬における固定報酬と業績連動型報酬の割合をお答えください。

※短期業績／中長期業績の区分が無い場合、固定報酬の割合のみでもご記入ください。

※対象となる役員は、原則AQ9.①取締役（社内）の範囲でお答えください。

※原則設定ベース（標準的な業績だった場合の割合）でお答えください。設定がない場合は直近の実績でも構いません。

※株式報酬も含めてお答えください。

固定報酬  
 約 **30** % + 約 **20** % + 約 **50** % = 計100%

✓ この場合、役員報酬の割合は、「固定報酬が30%」、「短期業績連動報酬が20%」、「中長期業績連動報酬が50%」と回答したことになります。

## ■ 自由記述設問の回答方法

✓ クリーム色の欄に内容をご入力ください。

**EQ15. 貴社の事業が環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）に対して与えている最大のネガティブなインパクトとそれを低減するための取り組みをお答えください。（各200字以内）**

※回答に対してマイナスの評価はしません。ネガティブインパクトの把握、低減のための取り組みを評価します。

字数 0

- ✓ 指定された文字数以内でご記入ください。（欄の右上の字数カウントを参照）
- ✓ データを抽出して使用するため、セル内改行や箇条書きはできるだけお控えください。

## ■ 備考欄

- ✓ クリーム色の欄に内容をご入力ください。

**【備考欄】EQ1～EQ61のSDGs調査用設問について補足説明が必要な場合はご記入ください。**

※回答欄に入りきらない追加回答などの記入はご遠慮ください。

- ✓ 入力規制の関係などで正しい回答が回答欄に入力できない場合や、カウントの仕方により回答の値が異なる場合などにご使用ください。
- ✓ 「その他」や自由記述のご記入欄に入りきらない内容を記入する欄ではありません。

## ■ その他

- ✓ 評価対象外となるため、調査票以外のファイルなどの添付はお控えください。



〒101-0047 東京都千代田区内神田2-2-1 鎌倉河岸ビル  
URL : <http://www.nikkei-r.co.jp>

調査担当：編集企画部 「SDGs経営」 「スマートワーク経営」 調査事務局 ▼



sw-survey@nikkei-r.co.jp



03-5296-5198